

令和元年度 鹿島市立東部中学校 学校評価計画

<b>1 学校教育目標</b>	<b>2 本年度の重点目標</b>
『心豊かに ともに伸びる』 ～STEP UP! あいさつ・掃除・勉強 プラスワン～	①心の教育の推進(あいさつ・掃除)(豊かな心づくりと体づくりの推進) ②学力の定着と向上(勉強)(確かな学力づくりの推進) ③「生きる力」の育成(志を高める教育・進路指導の充実) ④地域とともにある学校づくり(開かれた学校づくりの推進)

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

**3 目標・評価**

④地域とともにある学校づくり(開かれた学校づくりの推進)				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○開かれた学校づくり	・学校情報の発信 ・学校の公開 ・学校評価の実施	・学校教育活動にかかる情報発信に努める。 ・学校行事や授業参観への保護者の参加率を40%以上に上げる。 ・開かれた学校づくり委員会等で学校評価の適正化をはかる。	・学級だより、保健だより、図書館だより、学年だより、学校だより等を発行して、学校の様々な情報を発信する。 ・保護者が行事に参加しやすい日程を設定したり、内容を工夫する。 ・開かれた学校づくり委員会等を開催して情報を公開し、学校関係者評価を実施し、の適正化を図る。
		・各学校との交流及び連携	・地域及び校区内3小学校との交流及び連携に努める。 ・市内中学校との交流及び連携を図る。	・小・中連携により、地域団体との連携強化を深める。さらに、地域行事への積極的な参加や協力を推進し交流の充実を図る。 ・市内中学校と市内行事や部活動を通しての交流や連携を図る。
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	・業務の改善を図る。 ・教員の働き方改革の推進	・会議や事務の効率化を図り、教職員が生徒と向き合う時間を確保する。 ・時間外労働を減らす取組をおこなう。	・分掌担当者協議事項等について事前に検討し、職員会議の効率化を図る。 ・分掌事務負担を減らすため、共有フォルダを活用して、引継ぎの円滑化や再利用を図る。 ・課業日である毎週木曜日を部活動中止、定時退校日と定める。土日の部活動についても必ず一日を休業日として、時間外労働時間の軽減をはかる。

②学力の定着と向上(勉強)(確かな学力づくりの推進)				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力の向上	・指導方法の改善・充実を図る	・授業研究会や研修会等を通して、指導法改善をおこなう。 ・9月からの3年生の放課後学習に指導者をおき、参加者の9割以上に満足させる。	・主体的で対話的な深い学びをおこなうためアクティブラーニング等の表現活動や活用を取り入れた授業にとりくむ。 ・授業研究会を計画的に実施する。 ・3年生の放課後学習を選択教科制にして、学習意欲の向上と苦手教科の克服をはかる。
		・家庭での学習習慣の確立	・家庭学習時間が1時間以上の生徒が7割を超える。 ・家庭学習の指導助言を行い、宿題提出率を8割以上に上げる。 ・フォーサイトを活用し、望ましい学習習慣と生活リズムを確立させる。	・課題の精選をし、家庭学習の指導助言を行い、家庭学習時間確保と宿題の提出を促す。 ・フォーサイトを保護者と教師が共有し、生徒の生活習慣の確立を図る。さらに、家庭との連携の中で、家庭学習の習慣づけを図る。

①心の教育の推進(あいさつ・掃除)(豊かな心づくりと体づくりの推進)				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育	・道徳教育の充実 ・人権意識の高揚 ・ボランティア体験活動を通じた思いやりの心、共に生きる心の育成 ・生徒指導の充実	・全職員で教科化となった道徳の授業研究を取り組んでいく。 ・校内で、ボランティア活動を企画し、体験活動や福祉教育の充実を図る。 ・差別やいじめを許さない思いやりのある学級づくり、支持的風土のある学級づくり。人権作文や人権集会への取組を充実させる。 ・毎月、生活アンケートを実施し、生徒の問題の早期発見につなげる。	・全担任が年に1回は、ふれあい道徳などの時間を公開する。 ・生徒会活動を中心に校外で、ボランティア活動を企画し、体験活動や福祉教育につなげる。 ・人権・同和教育担当者を中心に全職員で人権作文や人権集会への取組を充実させる。 ・毎月、生活アンケートを実施し、生徒指導主事を中心に全職員で生活面での問題の早期発見・早期対応につなげる。
		●健康・体づくり	・望ましい生活習慣の形成 ・健康な体づくり ・食育指導の充実	・早寝早起きの習慣が出来る生徒が8割を超える。 ・家で、テレビを見たりゲームをする時間が3時間以上ある生徒を1割以下にする。 ・健康的な体づくりのため部活動への積極的な参加をよびかける。

③生きる力の育成(志を高める教育・進路指導の充実)				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●志を高める教育	・夢や目標を持ち、その実現のための個にあった進路指導の充実	・「夢」と「望ましい将来の自分像」を持ち、その実現のために努力を惜まない生徒の割合を80%以上に上げる。 ・郷土に愛着をもつ生徒育成のため、地域人材を生かし郷土について学習する機会を2回以上つくる。	・各学年における指導内容を系統的に捉え、3年間を通じた進路指導の充実を図るカリキュラムの充実を図る。 ・自己肯定感を高める方策を考え、個に応じた自分の進路について意欲的に考える生徒を育成する。 ・地域の教育資源や人材をいかした体験活動や講演会を実施する。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
特定課題	○教育の質の向上に向けたICT活用教育の実施	・教職員のICT活用に係るスキルアップの向上を図る。	・全職員がICT機器を活用し、主体的で対話的な深い学びができる指導力を身に付ける。	・ICT機器を取り入れた、主体的で対話的な深い学びをまじげた授業研究会をおこなったり、研修会を実施する。
	●いじめ問題への対応	・いじめの未然防止に努め、早期発見、早期対応を行う。 ・組織的に対応する職員体制を整える。	・職員がいじめ問題への対応や取組に対する、生徒評価、保護者評価で、8割以上の評価を目指す。	・毎月、生徒の生活アンケートを実施し、生徒の状況を把握し、予防を含め早期発見につなげる。 ・差別やいじめのない学校づくりの具現化のため、人権集会や道徳授業などの取り組みを保護者に伝わる手立てをとる。またPTA講演会や集会などで外部人材を取り入れた取り組みをおこなう。
	○教職員の資質向上	・「めざす学校を支える教師像」を目標として常に研鑽を重ねる。	・職員の接客や対応での保護者の満足度を9割以上に上げる。 ・先生が生徒の気持ちがかかってくれると回答する生徒・保護者が8割以上になるように専門性と指導力を高める。	・常日頃から生徒への適切な言葉遣いに心がけ、生徒ばかりでなく保護者からの信頼を得られよう努力する。 ・保護者への対応も礼儀正しく誠実な気持ちを忘れずに丁寧に対応する。 ・教師としての専門性と指導力を高めるため、研修会や研究発表会等に積極的に参加して、資質向上をめざす。
	○危機管理体制の整備	・危機に際してすぐに機能する「危機管理マニュアル」の定着。 ・危機に対して、敏感で的確な行動ができる体制整備。	・危機管理マニュアルを全職員で共通理解し、学校で起こる危機に関して未然防止に努める。 ・危機に直面した際に的確な対応ができると思う割合が、職員8割、生徒7割を超える。	・危機管理マニュアルを全職員員に配布して、共通理解・徹底を図る。 ・関係機関との連携をとるとともに、各種訓練を実施し、体験的な理解を図る。
	○掃除やあいさつの充実	・目指す学校像「明るく元気な学校」「美しい学校」の実施 ・無言掃除指導の徹底	・学校内外で元気なあいさつができる明るく元気な学校づくりを目指す。 ・無言清掃と元気な挨拶ができると答えられる生徒を100%になるように取り組む。	・生徒会やPTAとの連携をした挨拶運動に取り組み、元気な挨拶ができる生徒を育成する指導体制を確立する。 ・無言清掃には職員が臨場指導し、元気な挨拶ができるよう職員から積極的に挨拶をおこなう。

●は共通評価項目のうち必須項目、◎は共通評価項目のうち特定課題、○は独自評価項目